

中丸ゴシック体

春しゅんになれば 氷ここもとけて
どじよっこだの ふなっこの
夜が明けたと 思うべな

細丸ゴシック体

夏なつになれば 童わらわしこ泳ぎ
どじよっこだの ふなっこの
鬼おにこ来たなと 思うべな

中太丸ゴシック体

秋あきになれば 木この葉はこ落ちて
どじよっこだの ふなっこの
舟ふねこ来たなと 思うべな

太丸ゴシック体

冬ふゆになれば 氷ここも張はって
どじよっこだの ふなっこの
天井てんじやうこ張はったと 思うべな

42 Q2 行間32H送り
ルビ 8Q 細丸ゴシック体
本

12 Q 中丸ゴシック体 / 行間20H送り

夏来れば

た ぜき こ ぜき

ぬく——ルビ 8Q 細丸ゴシック体

田堰小堰さ 温ぬくくなる

春来れば 田堰小堰さ 水みづっこ出る
泥どろ鱈たらこ 鯀かみこアセア 喜よろこんで喜んで
海うみさ入いったと 思うべアネ
夏来れば 田堰小堰さ 温ぬくくなる
泥どろ鱈たらこ 鯀かみこアセア 喜よろこんで喜んで
湯ゆこさ入いったと 思うべアネ
秋来れば 野山小山は 赤あかくなる
泥どろ鱈たらこ 鯀かみこアセア 頸のど出して頸のど出して
山やまこア火か事ことだど 思うべアネ
冬来れば 田堰小堰さ 薄うす氷こ張はる
泥どろ鱈たらこ 鯀かみこアセア かげでかげで
天井てんじやうこ張はったと 思うべアネ

11 Q 細丸ゴシック体 / 行間18H送り

秋田県わらべうたとして知られる「どじよっこふなっこ」。実はこの歌詞のルーツは、青森県津軽地方の「田植え歌」ではないかといわれています。田植え歌とは文字どおり、稲の苗を田に植えるとき、その動作に合わせて歌われた仕事歌。多くは実際の仕事の手順や豊作を祈願する内容ですが、津軽地方の田植え歌は、水の中の生物の目を通して、春夏秋冬を描く非常にユニークなもの。これが秋田に伝わり、朗詠ふうに歌われていたものを、たまたま作曲家が耳にして、小学生でも歌える合唱曲として作曲したそうです。